

先の 4 月 18 日(日)に行われた新試験制度 3 回目の実施となる平成 22 年春期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者 / IT パスポート試験の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

### IT パスポート試験(IP)

[平成 22 年春期の IT パスポート試験 統計情報]

応募者	63,680 人
受験者	52,299 人
合格者	22,098 人
合格率	42.3%

今回で 3 回目の実施となった平成 22 年春期の応募者数は、初回実施の前年同期 46,845 人に対して大幅に増加しています。試験センターから発表された資料によると、今回の応募者全体の 35.2% (22,442 人) が学生でした。社会人も含めた内訳を見ると高校生の 9,284 人が最も多い受験者でした。参考までに 2 番目が大学生で 8,424 人、3 番目が情報処理・提供サービス業で 5,707 人です(その他、無記入の人を除く)。IT の基礎知識を理解している証となる資格として、学生に定着してきた感があります。

今回の試験は、前回試験と同様に難しい問題がいくつか出題されているため、合格率は下がるかと予想していました。結果は 42.3% で、初回の合格率 72.9%、2 回目の 50.7% に比べて、下がりました(学生の合格率は 24.9%)。

前回の試験では、初回試験との難易度の差を埋めるため、合格判定にあたって“難易度補正”という調整が行われましたが、今回は行われなかった模様です。合格率が下がった要因の一つとして、この調整が行われなかったことも挙げることができます。

今後の IT パスポート試験は、今回と同じ程度のレベルで出題されるのではないかと考えられます。試験問題は学習の上では実力を図るよい内容ですので、再受験する方はもう一度解き直してみましよう。

今回の試験の傾向や特徴をまとめると、次のようになります。

#### [問題傾向]

- ・前回ほどではなかったが、難しい問題がいくつか出題された。
- ・過去問題の比率は全体の 1 割弱で、他の試験の 4~6 割に比べて圧倒的に少ない数でした。
- ・新傾向または新しい用語に関する主な問題として、次のようなテーマがありました。出題数としては前回の平成 21 年秋期試験よりも少なくなっています。これらの出題内容は今後も IT パスポート試験で出題が予想されるとともに、基本情報技術者試験でも出題されていく問題になると予測できますので、復習しておきましょう。

問 17 TOB の説明

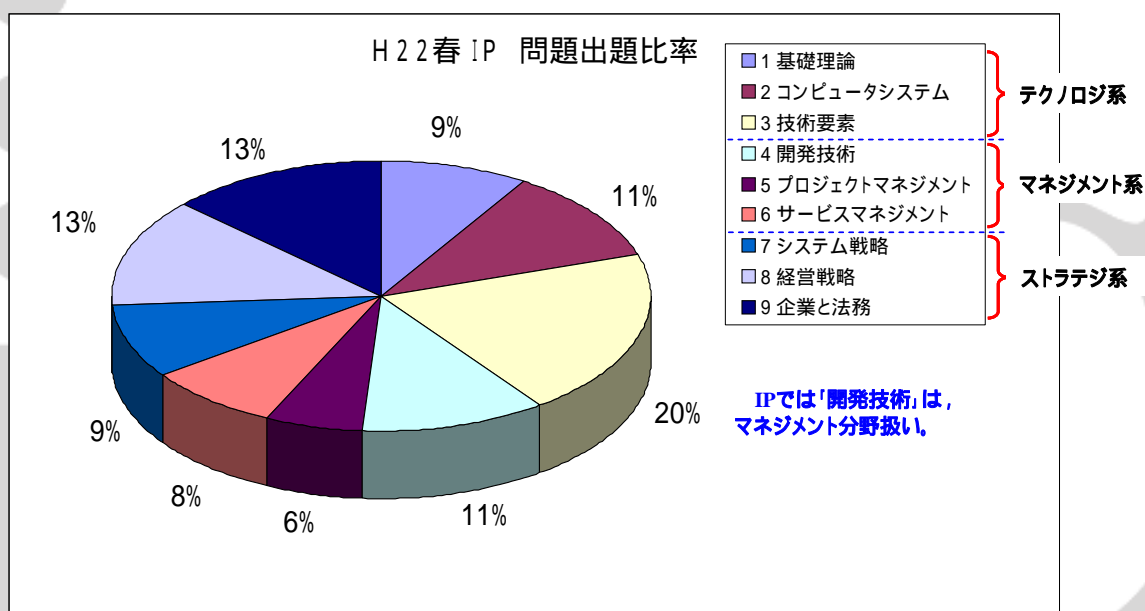
問 19 企業の経営状況を外部に公開する

問 26 インターネット上での通信販売の取引成立時点

- 問 27 ロングテールの考え方
- 問 39 ファシリティマネジメントにおける環境整備の実施事項
- 問 51 ソフトウェア要件定義の作業
- 問 53 変数に格納されたデータの入替え
- 問 59 Web で使用される Cookie に関する記述
- 問 74 電子透かし技術
- 問 75 ゆがみ文字画像を読み取って入力させる目的
- 問 86 サーバの仮想化技術
- 問 88 デジタル化した音声信号の図

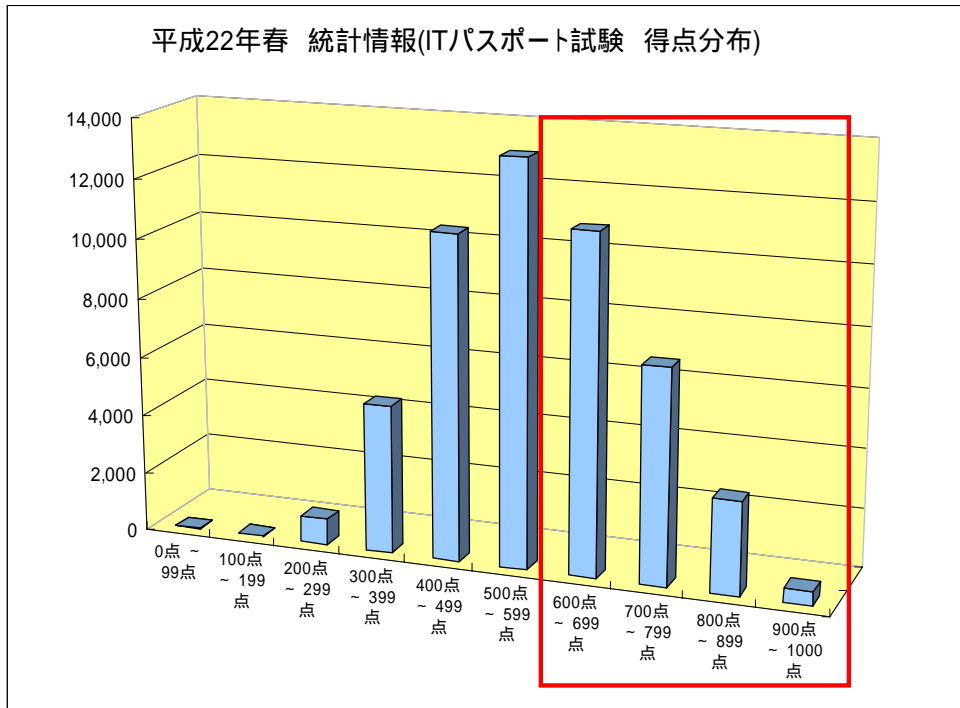
・なお、前回に続き、今回の IT パスポート試験では他の試験との重複出題は 1 問もありませんでした。まったく独自に問題選定されていると予想されます。

### 平成 22 年春期の IT パスポート試験



### 〔平成 22 年春 統計情報(IT パスポート 得点分布)〕

得点	人数
0 点 ~ 99 点	4
100 点 ~ 199 点	19
200 点 ~ 299 点	882
300 点 ~ 399 点	4,989
400 点 ~ 499 点	10,875
500 点 ~ 599 点	13,432
600 点 ~ 699 点	11,284
700 点 ~ 799 点	7,210
800 点 ~ 899 点	3,129
900 点 ~ 1000 点	475
計	52,299
合格者数	22,098
合格率	42.3%



今回の試験では、あと 100 点（10 問分）に泣いたボーダラインにいる方が 13,432 人（全体の 25.7%）いました。次回以降の試験レベルは今回程度の難易度と考えられます。いずれにしても、幅広い分野から出題されますので、試験前の仕上げの学習を確実に行って、幅広い知識を理解する必要があります。

（今回合格された人）

合格されたは、基本情報技術者試験にチャレンジされるとよいでしょう。なお、試験問題のレベルが一段上がり、午前試験と午後試験に分かれて学習に必要な時間が多くなることと、技術者向けの新しい内容も多くなってきますので、早めに学習することが必要です。

とはいっても、IT パスポート試験の出題内容が学習内容の基本になりますので、苦手分野や今回解けなかった問題などを中心に復習することも忘れないようにしましょう。

学習にあたっては、アイテックで出版している予想問題集、本試験問題をご利用ください。また、受験対策のプロ講師が基本情報技術者の試験対策セミナーを行う「合格ゼミ」は好評を頂いており特にお勧めです。通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テストをすべて含んだ「基本情報技術者 総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2 回）を含んだ標準学習時間 3 か月の「基本情報技術者 速習コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

（今回残念ながら不合格だった人）

今回の午前試験の得点が 500 点～599 点だった人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、身に付けた知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策を始めましょう。今回、独学で受験された方には、体系立てた学習が大切ですので、弊社で行っている通信教育コースの受講をお勧めします。

コースには、新試験制度に対応させて作成した予想問題集や基礎テキスト、テストをすべて含んだ「IT パスポート 総合コース」がお勧めです。なお、すでに基礎知識を解説したテキストを

お持ちの方は、「IT パスポート 速習コース」で問題演習を中心に学習すると効率的に学習できます。

コースの内容,2010年秋期受験用書籍の新しい書籍については弊社のホームページからご覧いただけます。どうぞご利用下さい。

<http://www.itec.co.jp/>

2010年用受験用書籍(一部)

